

ワイヤレスバーコードスキャナー

改良版取扱説明書

Ver. 01. 2. 01

初めに

1. 旧版の説明書は汎用ではなく、旧版の説明書に記載した設定コードをスキャンしないでください。
2. パッケージ付属された説明書の設定コードをスキャンし、スキャナーを設定してください。
別の取扱説明書の設定コードをスキャンしないでください。
3. コンピュータのUSBコネクタまたは5V 1A DC USBコネクタの電源アダプタを使用してスキャナーを充電してください。その他の電源は、スキャナーやバッテリーに損傷を与える可能性があります。
4. 使用する前に、スキャナに十分な電力があることを確認してください

本製品について何かご質問がある場合は、ご注文番号と商品の状況をご記入の上、下記の窓口まで連絡してください。

アカウントサービス>注文履歴を開きます>「出品者」のリンクをクリックします>詳細の「出品者に連絡」をクリックします。

目次

工場出荷時のデフォルトに戻す.....	01
バージョン番号の表示.....	01
提示音設定.....	01
電量表示.....	02
スリープ時間の設定.....	02
データフォーマット.....	03
ワイヤレス動作モード.....	03
即時アップロードモード.....	03
蓄積モード.....	03
有線接続手順.....	04
USB-COM.....	04
ワイヤレス2.4 Gペアリングの手順.....	05
キーボード言語の設定.....	05
大文字と小文字の変換.....	07
隠し文字GS置換機能.....	08
カスタムプレフィックス/サフィックス設定.....	08
カスタム接頭辞の追加.....	08
カスタム接尾辞の追加.....	09
前/後の文字を非表示にする.....	10
ターミネータ設定.....	11
スキャンモード.....	12
手動トリガースキャン.....	12
連続スキャン.....	12
Code ID プレフィックス.....	12
バーコード種類別オン/オフ設定.....	13

UPC-A.	13
UPC-AからEAN-13に変換.	14
UPC-E.	15
UPC-EからUPC-Aに変換.	16
EAN-8.	17
EAN-13.	18
EAN-13からISBNに変換.	19
EAN-13からISSNに変換.	20
UPC/EAN/JANアドオンコード設定.	20
Code 128.	22
Code 39.	22
Code 39—チェックデジット設定.	23
Code 39—スタート/ストップ文字転送.	24
Code 39—Full ASCII認識.	24
Code 32.	25
Code 93.	26
Code 93—チェックデジット設定.	26
Code 11.	27
Codabar (NW-7)	27
Interleaved 2 of 5.	28
Matrix 2 of 5.	29
Industrial 2 of 5.	29
Standard 2 of 5 (IATA).	30
MSI Plessey.	30
Plessey.	31
Febrabanブラジル銀行コード.	31
GS1 DataBar 14 (RSS-14).	32
GS1 DataBar 14 (RSS-14).	32

付録-Code ID.....	33
制御文字エスケープ設定.....	34
付録-コントロール（制御文字）文字表.....	35
付録-ASCIIコード文字表.....	38

工場出荷時のデフォルトに戻す



工場出荷時のデフォ
ルトに戻す

バージョン番号の表示



バージョン番号の表示

提示音設定



提示音高*



提示音中



提示音低



提示音オフ

電量表示



電量表示

スリープ時間の設定



スリープ時間30秒



スリープ時間2分



スリープ時間5分



スリープ時間30分



スリープしない



今すぐスリープ

データフォーマット



GBK (メモ帳, Excelなど) *



Unicode (WORD, QQなど)

ワイヤレス動作モード

即時アップロードモード



即時アップロードモード*

蓄積モード



蓄積モード



蓄積されたデータをアップロード



蓄積された総合数



蓄積されたデータを削除

有線接続手順

- A. パッケージに付属されたusbケーブルをパソコンのusbポートに差し込みます。
スキャナーと接続します。
- B. スキャナーのトリガーボタンを押して、電源を入ります。
(リング式スキャナーは先に裏面の電源をオンにしてください。)
もう一回トリガーボタンを押して、赤い読み取りライトが出るかどうかを確認します。
- C. パソコンのメモ帳を開きます。
- D. メモ帳のカソールは点滅している状態に確認します。
- E. 手元にあるバーコードをスキャンします。
データをパソコンに伝送されたかどうかを確認します。
もし相変わらずだめなら、別のUSBポートに差し込んで見てください。

USB-COM



USB-COM

ワイヤレス2.4 Gペアリングの手順 (受信機のペアリング)

ステップ1:ワイヤレス2.4Gモード設定コードのスキャンします。

ワイヤレス2.4Gモードが設定されている場合、デフォルトでは、最後にペアリングされた受信機が優先的に接続されます。



ワイヤレス2.4 Gモード

ステップ2:「強制ペアリング」設定コードをスキャンしてペアリング状態にし、青い提示光をすばやく点滅させます。



強制ペアリング

ステップ3:Dongle (受信機) を挿入して、ペアリングが成功したことを示す「び」という音を聞こえます。青いLEDは点灯します。

注意:

ペアリング状態は、キーを2回連続してクリックするか、ペアリングが1分タイムアウトすると終了します。

キーボード言語の設定

デフォルトは「アメリカ英語キーボード」です。

注意：

もし一部のデータが文字化けで出力してしまう場合、スキャナーのキーボード言語設定はPC側のキーボード言語設定が一致ではない可能性があります。そういう場合、パソコンのキーボード言語を英語入力法に切り替えてみてください。

スキャナーのデフォルトは「英語」キーボードでございますので。

またはパソコンのキーボード言語が日本語の場合、先に下の「日本語」の設定コードをスキャンし、スキャナー言語を先に日本語に切り替えるのが必要です。



英語English



ドイツ語German



フランス語French



スペイン語Spanish



イタリア語Italian



日本語Japanese



イギリス英語British English



国際共通キーボードInternational keyboard

大文字と小文字の変換



変更なし*



すべて大文字



すべて小文字



大文字と小文字を逆にする

隠し文字GS置換機能

カスタムGS置換

ステップ1:

カスタムGS置換設定コードのスキャンします。



カスタムGS置換

ステップ2:

「付録-ASCIIコード文字表」で検索し、置換する文字に対応するバーコードをスキャンします。

例:

GS文字を表示可能な「|」文字に置き換える

ステップ1:

カスタムGS置換設定コードのスキャンします。

ステップ2では、「付録-ASCIIコード文字表」

で検索し、「|」文字に対応するバーコードを見つけ、スキャンします。

GS置換をキャンセル



GS置換をキャンセル

カスタムプレフィックス/サフィックス設定

この製品では、最大32バイトのサフィックスとプレフィックス設定をサポートしています。

カスタム接頭辞の追加

手順1: 「カスタム接頭辞を追加」設定コードをスキャンします。



カスタム接頭辞を追加

ステップ2:必要に応じて追加の内容は、「付録-ASCIIコード文字表」をスキャンして、カスタム接頭辞に対応する設定コードをスキャンしてください。

例:

「ABC123」を設定し、カスタム「789」を追加し、「789ABC123」を出力します。

ステップ1:「カスタム接頭辞を追加」設定コードをスキャンします。

ステップ2:必要に応じて追加の内容を照会して「付録-ASCIIコード文字表」を順次スキャンして「7」、「8」、「9」対応の設定コードをスキャンしてください。

接頭辞をキャンセル

もう一回「カスタム接頭辞を追加」設定コードをスキャンすれば、接頭辞がキャンセルできます。

または「工場出荷時のデフォルトに戻す」をスキャンして、接頭辞を消去できます。

カスタム接尾辞の追加

ステップ1:「カスタム接尾辞の追加」設定コードをスキャンします。



カスタム接尾辞の追加

ステップ2:必要に応じて追加の内容は、「付録-ASCIIコード文字表」をスキャンしてカスタム接尾辞対応のコードを設定してください。

例:

「ABC123」を設定し、カスタム「XYZ」を追加し、「ABC123XYZ」を書き出します。

ステップ1:「カスタム接尾辞の追加」設定コードをスキャンする、

ステップ2:必要に応じて追加の内容を照会して「付録-ASCIIコード文字表」を順次スキャンして「X」、「Y」、「Z」対応の設定コードをスキャンしてください。

カスタム接尾辞をクリア

もう一回「カスタム接尾辞の追加」設定コードをスキャンすれば、接尾辞がキャンセルできます。

または「工場出荷時のデフォルトに戻す」をスキャンして、接尾辞を消去できます。

前/後の文字を非表示にする

次の手順に従って、非表示の前後の文字の桁数を設定します。最大16桁まで非表示にできます。

ステップ1:「前の文字を非表示」または「後の文字を非表示」の設定コードをスキャンします。



前の文字を非表示



後ろの文字を非表示

ステップ2：隠されたい桁数によって、「付録-ASCIIコード文字表」部分の01-16が対応する設定コードをスキャンします。

前後文字の非表示をクリア

もう一回「前/後ろの文字を非表示」設定コードをスキャンすれば、「前/後ろの文字を非表示」がキャンセルできます。

または「工場出荷時のデフォルトに戻す」をスキャンして、「前/後ろの文字を非表示」を消去できます。

ターミネータ設定



終了文字を<CR>に修正 (0x0D) *



終了文字を<LF>に修正 (0x0A)



終了文字を<CR><LF>に修正 (0x0D, 0x0A)



終了文字を<HT>に修正 (0x09)



終了文字をなしに変更NONE

スキャンモード 手動トリガースキャン



トリガースキャン*

連続スキャン



連続スキャン

Code ID プレフィックス

詳細について、「付録-Code ID」部分を参照してください。



Code IDオフ**



Code IDオン

バーコード種類別オン/オフ設定

UPC-A



00341
UPC-Aオン*



00340
UPC-Aオフ



00421
UPC-Aチェックデジット転送



00420
UPC-Aチェックデジット非転送



00400

UPC-Aシステム文字転送*



00401

UPC-Aシステム文字非転送

UPC-AからEAN-13に変換



00391

UPC-AをEAN-13に変換



00390

UPC-AをEAN-13に非変換*

UPC-E



00351
UPC-Eオン*



00350
UPC-Eオフ



00441
UPC-Eチェックデジットオン*



00440
UPC-Eチェックデジットオフ



00430

UPC-Eシステム文字転送*



00431

UPC-Eシステム文字非転送

UPC-EからUPC-Aに変換



00381

UPC-EをUPC-Aに変換



00380

UPC-EをUPC-Aに非変換*

EAN-8



00371
EAN-8オン*



00370
EAN-8オフ



00571
EAN-8チェックデジットオン*



00570
EAN-8チェックデジットオフ



00560

EAN-8システム文字転送*



00561

EAN-8システム文字非転送

EAN-13



00361

EAN-13オン*



00360

EAN-13オフ



00461

EAN-13チェックデジットオン*



00460

EAN-13チェックデジットオフ

EAN-13からISBNに変換



00481

EAN-13をISBNに変換



00480

EAN-13をISBNに非変換*

EAN-13からISSNに変換



01501

EAN-13をISSNに変換



01500

EAN-13をISSNに非変換*

UPC/EAN/JANアドオンコード設定



00551

2桁アドオンコード設定オン



00552

5桁アドオンコード設定オン



00553

2桁と5桁アドオンコード設定オン



00550

アドオンコード設定オフ*



02611

アドオンコード強制に含む



02610

アドオンコード非強制に含む*

Code 128



00691

Code 128オン*



00690

Code 128オフ

Code 39



00221

Code 39オン*



00220

Code 39オフ

Code 39—チェックデジット設定



00251

チェックデジット伝送



00250

チェックデジット非伝送*



00241

MOD43チェックオン



00240

MOD43チェックオフ*

Code 39—スタート/ストップ文字転送



00281
転送する



00280
転送しない*

Code 39—Full ASCII認識

コード39データにはすべてのASCII文字を含めることができるが、スキャナはデフォルトでASCII文字の一部のみを認識し、設定によりASCII文字全体を認識する機能をオンにすることができます。



00231
Full ASCII文字を認識*



00230
一部のみ認識

Code 32



01951
Code 32オン



01950
Code 32オフ*

注意：

Code 32をオンにするとCode 39デコードに影響があります。「Code 39オン」そして「チェックデジットなし」場合、Code 32 Pharmaceuticalがデコードできません。

Code 93



00621
Code 93オン*



00620
Code 93オフ

Code 93—チェックデジット設定



01901
MOD47チェックデジットオン*



01900
MODE 47チェックデジットオフ

Code 11



01261
Code 11オン*



01260
Code 11オフ

Codabar (NW-7)



00851
Codabarオン*



00850
Codabarオフ



00861

スタート/ストップ文字転送



00860

スタート/ストップ文字非転送*

Interleaved 2 of 5



00961

Interleaved 2 of 5オン*



00960

Interleaved 2 of 5オフ

Matrix 2 of 5



01461

Matrix 2 of 5オン*



01460

Matrix 2 of 5オフ

Industrial 2 of 5



01061

Industrial 2 of 5オン*



01060

Industrial 2 of 5オフ

Standard 2 of 5 (IATA)



01871

Standard 2 of 5 オン*



01870

Standard 2 of 5 オフ

MSI Plessey



01151

MSI Plessey オン



01150

MSI Plessey オフ*

Plessey



01161

Plesseyオン



01160

Plesseyオフ*

Febraban **ブラジル銀行コード**



Febrabanオン



Febrabanオフ*

GS1 DataBar 14 (RSS-14)



01671

GS1 DataBar 14オン



01670

GS1 DataBar 14オフ*

GS1 DataBar Limited (RSS-Limited)



01771

RSS-Limitedオン



01770

RSS-Limitedオフ*

付録-Code ID

1	すべてのコード	@
2	CODE 128	a
3	EAN 8	c
4	EAN 13	d
5	UPC-A	e
6	UPC-E	f
7	CODE 93	i
8	GS1 Omnidirectional	j
9	GS1 Limited	k
10	CODE 39	m
11	Interleaved 2 of 5	n
12	Industrial 2 of 5	o
13	Standard 2 of 5	p
14	Matrix 2 of 5	q
15	China Post	r
16	MSI	s
17	Plessey	t
18	Code 11	u
19	Codabar	v
20	Code 32	l

制御文字エスケープ設定

接頭辞または接尾辞（プレフィックス/サフィックス）が利用される文字表が二つに分かれます。

「表示可能文字表」と「制御文字表」です。

「表示可能文字表」は主にキー値が31より大きいASCII文字です。直接にHIDキーボードから出力できます。

エスケープする必要がありません。

「制御文字表」は主にキー値が32より小さい文字です。HIDキーボードから直接出力することはできません。HIDキーボードから出力するにはエスケープする必要があります。当該スキャナーは四つのエスケープ方式がございます。バーコードをスキャンし、異なるエスケープを変更します。ご必要にエスケープを設定することができます。デフォルトは「エスケープ文字セット0」です。



エスケープ文字セット0*



エスケープ文字セット1



エスケープ文字セット2



エスケープ文字セット3



エスケープ文字セット4

付録-コントロール（制御文字）文字表

注意：

制御文字表設定コードはASCII表の01-31対応設定コードを参照してください。

10 進数	ASCII	文字セ ット0	文字セ ット1	文字セ ット2	文字セ ット3	文字セ ット4
1	SOH	NULL	Home	Ctrl+A	Alt+001	数字ボ ード Enter
2	STX	Ctrl+B	End	Ctrl+B	Alt+002	Cap Lock
3	ETX	Ctrl+C	Up Arrow	Ctrl+C	Alt+003	Right Arrow
4	EOT	カスタ ムキー1 **	Down Arrow	Ctrl+D	Alt+004	Up Arrow
5	ENQ	カスタ ムキー2 **	Left Arrow	Ctrl+E	Alt+005	NULL
6	ACK	カスタ ムキー3 **	Right Arrow	Ctrl+F	Alt+006	NULL
7	BEL	カスタ ムキー4 **	Shift+ Tab	Ctrl+G	Alt+007	Enter

8	BS	Back Space	Back Space	Back Space	Alt+008	Left Arrow
9	HT	Tab	Tab	Tab	Alt+009	Tab
10	LF	Enter	Enter	Ctrl+J	Alt+010	Down Arrow
11	VT	NULL	NULL	Ctrl+K	Alt+011	Tab
12	FF	NULL	NULL	Ctrl+L	Alt+012	delete
13	CR	Enter	Enter	Enter	Alt+013	Enter
14	S0	F1	Page Up	Ctrl+N	Alt+014	Insert
15	S1	F2	Page Down	Ctrl+O	Alt+015	Esc
16	DLE	F3	F11	Ctrl+P	Alt+016	F11
17	DC1	F4	NULL	Ctrl+Q	Alt+017	Home
18	DC2	F5	NULL	Ctrl+R	Alt+018	Print Screen
19	DC3	F6	NULL	Ctrl+S	Alt+019	Back Space
20	DC4	F7	NULL	Ctrl+T	Alt+020	Shift tab
21	NAK	F8	F12	Ctrl+U	Alt+021	F12

22	SYN	F9	F1	Ctrl+V	Alt+022	F1
23	TB	F10	F2	Ctrl+W	Alt+023	F2
24	CAN	F11	F3	Ctrl+X	Alt+024	F3
25	EM	F12	F4	Ctrl+Y	Alt+025	F4
26	SUB	NULL	F5	Ctrl+Z	Alt+026	F5
27	Esc	Esc	F6	Ctrl+[Alt+027	F6
28	FS	ALT+028	F7	Ctrl+¥	Alt+028	F7
29	GS	ALT+029	F8	Ctrl+]	Alt+029	F8
30	RS	NULL	F9	Ctrl+^	Alt+030	F9
31	US	NULL	F10	Ctrl+_	Alt+031	F10

**カスタムキーは、コントロール文字の設定をカスタマイズするために使用できます。
デフォルトはNULLです。







付録-ASCIIコード文字表


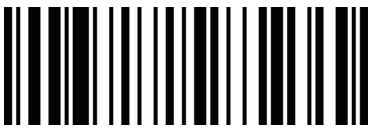




注意:







01-31は制御文字表部分です。


「付録-コントロール（制御文字）文字表」を参照し、定義する必要があります。32-127は表示可能文字、可視文字表は通常、定義せずにHIDキーボードから直接出力できます。







十六進数	ASCII	コード	1次元設定コード
01	01	SOH	
02	02	STX	
03	03	ETX	
04	04	EOT	

05	05	ENQ	
06	06	ACK	
07	07	BEL	
08	08	BS	
09	09	HT	
0A	10	LF	







0B	11	VT	
0C	12	FF	
0D	13	CR	
0E	14	S0	
0F	15	S1	
10	16	DLE	




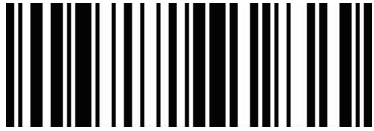


11	17	DC1	
12	18	DC2	
13	19	DC3	
14	20	DC4	
15	21	NAK	
16	22	SYN	

17	23	TB	
18	24	CAN	
19	25	EM	
1A	26	SUB	
1B	27	Esc	
1C	28	FS	

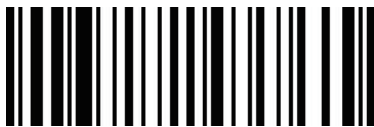





1D	29	GS	
1E	30	RS	
1F	31	US	
20	32	SP	
21	33	!	
22	34	"	







23	35	#	
24	36	\$	
25	37	%	
26	38	&	
27	39	`	
28	40	(







29	41)	
2A	42	*	
2B	43	%	
2C	44	&	
2D	45	`	
2E	46	(





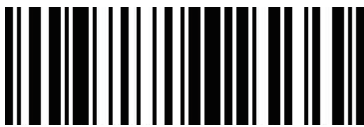

2F	47	/	
30	48	0	
31	49	1	
32	50	2	
33	51	3	
34	52	4	







35	53	5	
36	54	6	
37	55	7	
38	56	8	
39	57	9	
3A	58	:	







3B	59	;	
3C	60	<	
3D	61	=	
3E	62	>	
3F	63	?	
40	64	@	

41	65	A	
42	66	B	
43	67	C	
44	68	D	
45	69	E	
46	70	F	






47	71	G	
48	72	H	
49	73	I	
4A	74	J	
4B	75	K	
4C	76	L	

4D	77	M	
4E	78	N	
4F	79	O	
50	80	P	
51	81	Q	
52	82	R	


53	83	S	
54	84	T	
55	85	U	
56	86	V	
57	87	W	
58	88	X	

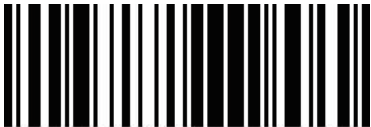





59	89	Y	
5A	90	Z	
5B	91	[
5C	92	¥	
5D	93]	
5E	94	^	

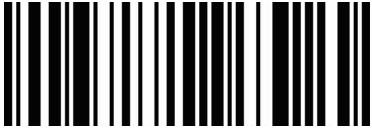
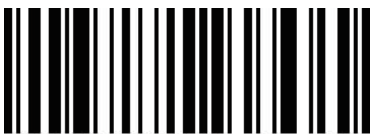


5F	95	—	
60	96	'	
61	97	a	
62	98	b	
63	99	c	
64	100	d	

65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	
68	104	h	
69	105	i	
6A	106	j	

6B	107	k	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	
70	112	p	

71	113	q	
72	114	r	
73	115	s	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	

77	119	w	
78	120	x	
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	
7C	124		

7D	125	}	
7E	126	~	
7F	127	DEL	
C7	199	Ç	
E7	231	ç	